



内科・泌尿器科

のはなし

早期発見・早期治療！腫瘍の話／その108

健診とドックの話その⑥ 死因別死亡率第一位『がん』について！

隔月連載のお話、病気の早期発見・早期治療に重要な健診とドックについての6回目。昨年12月号に引き続き、『がん』についてのお話です。

まず、前回のおさらいです。

昭和55（1980）年に、悪性新生物、いわゆる『がん』が、死因別死亡率が第一位となり、現在も独走中であること、

最新の令和4（2022）年の死因別死亡率割合では、悪性新生物が24・6%、日本人の半数が、何らかの『がん』にかかり、4分の1の方がそれでお伝えしました。今

い知識を得るとともに、早期発見のための健診やドックを定期的に受診することが、とても重要と言えます。

さて、『がん』と、ひとまとめに言っても、頻度の高いものや稀なもの、予後の良いものや悪いもの、沢山の種類がありますので、日本の『がん』の現状について、まず確認していきましょう。

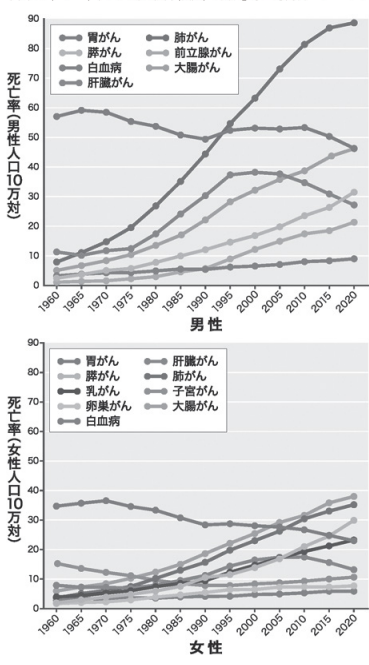
亡くなっていること、その一方、前年と比較して、第三位の老衰が10・6%から1ポイント増加、『がん』が26・5%から2ポイント

後、さらに『がん死』を減らすために、私たちは、さまざまな医療講演会などに積極的に参加し、『がん』に対する最新の正し

厚生労働省から2022年6月に発表された、『令和3（2021）年、人口動態統計（概数）の概況』の、日本のがん

部位別男女別死亡率の推移をみますと、男性が女性の2倍のがん死亡率であること、男女とも、胃と肝臓がんの死亡率が低下し

日本における がん部位別 男女別 死亡率の推移
「令和3（2021）年 人口動態統計（概数）の概況」厚生労働省 2022.6.3



部位別男女別死亡率の推移をみますと、男性が女性の2倍のがん死亡率であること、男女とも、胃と肝臓がんの死亡率が低下し

北彩都病院 泌尿器科
永山 腎臓泌尿器科
永山 2F
046-46-0000

北彩都病院 泌尿器科
癌診断・治療センター長
徳光 正行
医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医